第11章　帳簿の締切

11－1　決算振替

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

① 株式会社における決算振替の内容を理解しよう！

② 資本振替の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「損益」勘定

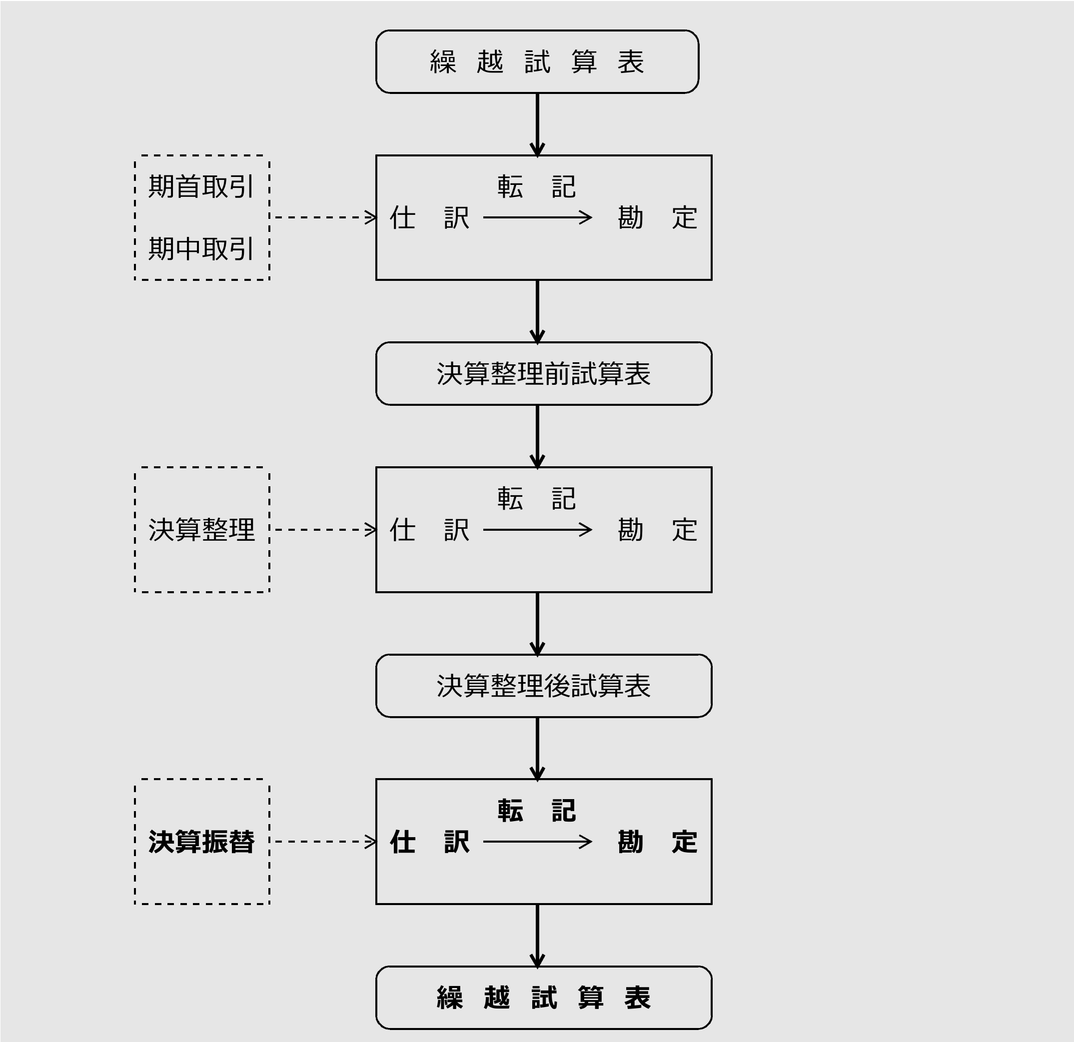
「繰越利益剰余金」勘定（純資産）

全商簿記３級では個人商店における帳簿の締切を学習しましたが、ここでは株式会社における帳簿の締切を学習します。

（１）決算振替

帳簿の締切の手続きは、①損益振替 → ②資本振替 → ③資産、負債及び純資産の勘定残高の繰越 → ④繰越試算表の作成の流れで行います。

決算振替が簿記一巡の中でどこに該当するのかを理解していただくために、簿記一巡の図を記載します。



（2）損益振替

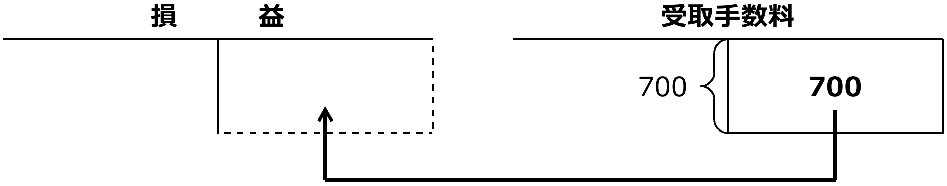
決算整理で正しい残高となった収益、費用をもとに損益計算書で当期純利益を算定しますが、帳簿においても当期純利益を算定するために、収益と費用の各勘定残高を「**損益**」勘定に振り替えます。これを**損益振替**といいます。なお、「損益」勘定は決算振替の際にのみ利用し、期中取引や決算整理においては利用されません。

損益振替を行うと収益と費用のすべての勘定残高が損益勘定に集まり、その差額で当期純利益を算定します。また、損益振替を行うことで収益、費用の各勘定の残高がゼロとなり、収益と費用の勘定は締め切られます。

実際の勘定記入とは異なりますが、損益振替のイメージは以下のようになります。

・収益勘定の振替

①　損益振替前

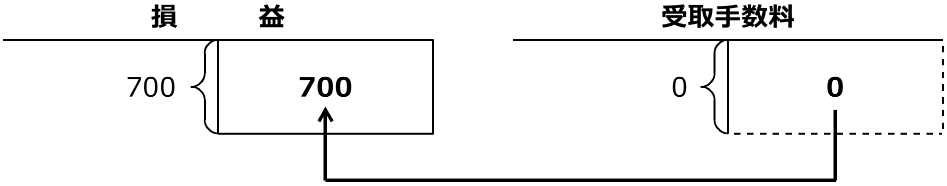


②　損益振替仕訳

「受取手数料」勘定（収益）の貸方残高700を「損益」勘定の貸方に振り替えます。損益振替を行うと、「損益」勘定の貸方に700が記入され、「受取手数料」勘定の残高はゼロとなります（③損益振替後を見て下さい）。そこで、借方に「受取手数料」勘定700、貸方に「損益」勘定700として仕訳を行います。

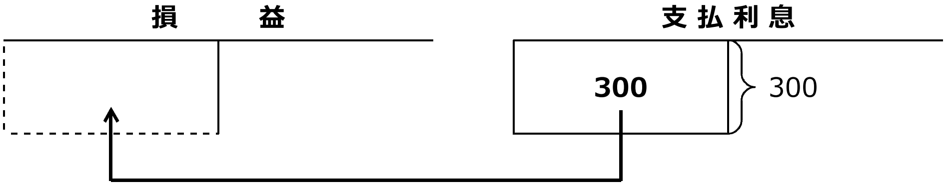
借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
受　取　手　数　料	**700**	**損　　　　益**	**700**

③　損益振替後



・費用勘定の振替

①　損益振替前

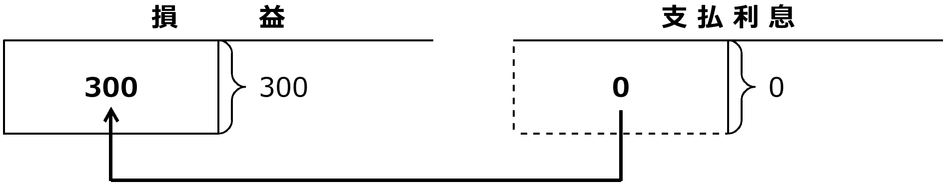


②　損益振替仕訳

「支払利息」勘定（費用）の借方残高300を「損益」勘定の借方に振り替えます。損益振替を行うと、「損益」勘定の借方に300が記入され、「支払利息」勘定の残高はゼロとなります（③損益振替後を見て下さい）。そこで、借方に「損益」勘定300、貸方に「支払利息」勘定300として仕訳を行います。

借方科目	金額	貸方科目	金額
損　益	**300**	**支　払　利　息**	**300**

③　損益振替後



実際の勘定の記入は以下となります。「損益」勘定の差額で当期純利益400を算定します。また、損益振替を行うと収益と費用の各勘定は残高がゼロとなり、締め切られます。

受取手数料

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
12	31	損　益	700	4	4	現　金	700

支払利息

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
3	3	現　金	300	12	31	損　益	300

損　益

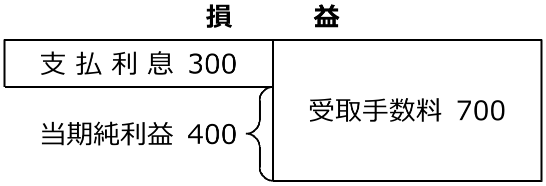
日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
12	31	支払利息	300	12	31	受取手数料	700

（３）資本振替

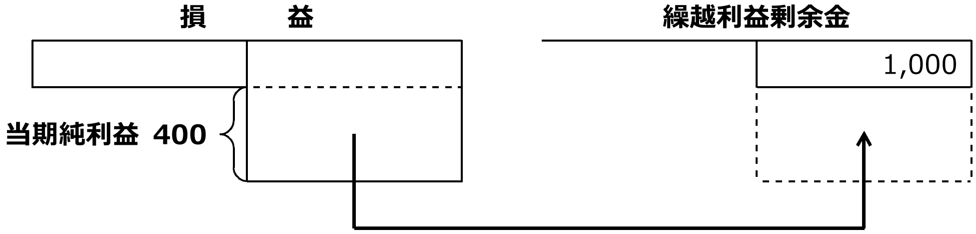
「損益」勘定で算定した当期純利益を「**繰越利益剰余金**」勘定（**純資産**）に振り替えます。これを**資本振替**（しほんふりかえ）といいます。個人商店においては、「損益」勘定で算定した当期純利益を「**資本金**」勘定に振り替えましたが、株式会社では「**繰越利益剰余金**」勘定に振り替えます。

実際の勘定記入とは異なりますが、資本振替のイメージは以下のようになります。

・損益振替後の「損益」勘定



① 資本振替前

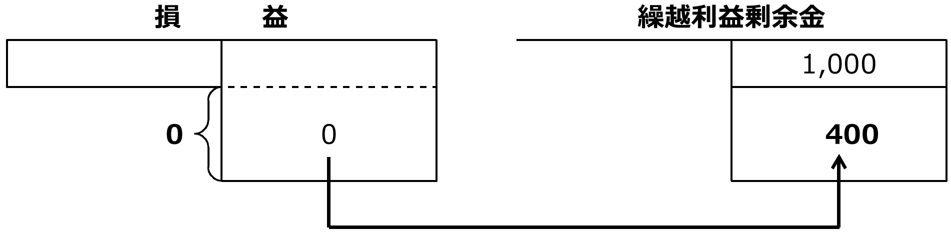


② 資本振替仕訳

「損益」勘定の貸方残高400（当期純利益）を「繰越利益剰余金」勘定の貸方に振り替えます。資本振替を行うと、「繰越利益剰余金」勘定の貸方に400が記入され、「損益」勘定の残高はゼロとなります（③資本振替後を見て下さい）。そこで、借方に「損益」勘定400、貸方に「繰越利益剰余金」勘定400として仕訳を行います。

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
損　　益	**400**	**繰 越 利 益 剰 余 金**	**400**

③ 資本振替後



実際の勘定の記入は以下となります。

損　　益

日付		摘　　要	借　方	日付		摘　　要	貸　方
12	31	支払利息	300	12	31	受取手数料	700
	〃	繰越利益剰余金	400				
			700				700

繰越利益剰余金

日付		摘　　要	借　方	日付		摘　　要	貸　方
				1	1	前期繰越	1,000
				12	31	損益	400

（４）資産、負債及び純資産の勘定残高の繰越

資産、負債及び純資産の各勘定は残高がある側とは貸借反対側の摘要欄に「**次期繰越**（じきくりこし）」、金額欄（借方欄または貸方欄）に**残高の金額**を記入して締め切ります。

現　　金

日付		摘　　要	借　方	日付		摘　　要	貸　方
1	1	前期繰越	3,000	3	3	支払利息	300
2	2	借入金	2,000	12	31	次期繰越	5,400
4	4	受取手数料	700				
			5,700				5,700

借　入　金

日付		摘　　要	借　方	日付		摘　　要	貸　方
12	31	次期繰越	2,000	2	2	現金	2,000

資　本　金

日付		摘　　要	借　方	日付		摘　　要	貸　方
12	31	次期繰越	2,000	1	1	前期繰越	2,000

繰越利益剰余金

日付		摘　　要	借　方	日付		摘　　要	貸　方
12	31	次期繰越	1,400	1	1	前期繰越	1,000
				12	31	損益	400
			1,400				1,400

（5）繰越試算表の作成

資産、負債及び純資産の各勘定を締め切ったら、**繰越試算表**（くりこししさんひょう）を作成します。**繰越試算表**とは、資産、負債、純資産の次期繰越金額を集計した試算表です。

繰　越　試　算　表

借　方	勘定科目	貸　方
5,400	現　　　金	
	借　入　金	2,000
	資　本　金	2,000
	繰越利益剰余金	1,400
5,400		5,400

（6）開始記入

決算が終わり、次期になりました。資産、負債、純資産の各勘定の残高は前期から繰り越されてきます。しかし、前期の決算（帳簿の締切）によって残高がゼロとなっています。しかし、実際にはその残高がなくなるわけではありません。例えば、「現金」勘定の残高はゼロですが、繰越金額が5,400円の場合、実際の現金5,400円がゼロになるわけではありません。現金5,400円は実際に次期に繰り越されます。

そこで、残高がゼロとなっている資産、負債、純資産の各勘定に、次期繰越金額（当期からみたら前期繰越金額）を戻す必要があります。これを**開始記入**（かいしきにゅう）といいます。前期末に「次期繰越」と記入した貸借反対側の摘要欄に「**前期繰越**（ぜんきくりこし）」、金額欄（借方欄または貸方欄）に**繰越金額**を記入します。

現　　金

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
1	1	前期繰越	3,000	3	3	支払利息	300
2	2	借入金	2,000	12	31	次期繰越	5,400
4	4	受取手数料	700				
			5,700				5,700
1	1	前期繰越	5,400				

借　入　金

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
12	31	次期繰越	2,000	2	2	現金	2,000
				1	1	前期繰越	2,000

資　本　金

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
12	31	次期繰越	2,000	1	1	前期繰越	2,000
				1	1	前期繰越	2,000

繰越利益剰余金

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
12	31	次期繰越	1,400	1	1	前期繰越	1,000
				12	31	損益	400
			1,400				1,400
				1	1	前期繰越	1,400

第11章　帳簿の締切　問題

問題11-1　株式会社神奈川物産の次の決算整理後残高試算表に基づいて、損益勘定と繰越利益剰余金勘定を作成しなさい。なお、決算日は2031年3月31日である。

決算整理後残高試算表

借　方	勘定科目	貸　方
60,000	現金	
2,000	繰越商品	
	借入金	10,000
	資本金	40,000
	繰越利益剰余金	7,000
	売上	20,000
15,000	仕入	
77,000		77,000

第11章　帳簿の締切　答案用紙

問題11-1

損　　　益

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
3	31			3	31		
	〃						

繰越利益剰余金

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
3	31			4	1	前　期　繰　越	7,000
				3	31		

第11章　帳簿の締切　解答解説

問題11-1　**解答**

損　　益

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
3	31	仕　入	15,000	3	31	売　上	20,000
	〃	繰越利益剰余金	5,000				
			20,000				20,000

繰越利益剰余金

日付		摘　要	借　方	日付		摘　要	貸　方
3	31	次期繰越	12,000	4	1	前期繰越	7,000
				3	31	損　益	5,000
			12,000				12,000

問題11-1　**解説**

　損益振替によって当期純利益を算定し、それを「損益」勘定から「繰越利益剰余金」勘定（純資産）に振り替えます。また、資産、負債及び純資産の各勘定について仕訳を行わず、勘定において残高がある側とは貸借反対側に「次期繰越」と記入して勘定を締め切ります。

①　損益振替仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上	**20,000**	**損益**	**20,000**
損益	**15,000**	**仕入**	**15,000**

・資本振替仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
損益	**5,000**	**繰越利益剰余金**	**5,000**

② 損益勘定及び繰越利益剰余金勘定

損　　益

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
3	31	仕入	15,000	3	31	売上	20,000
	〃	繰越利益剰余金	5,000				
			20,000				20,000

繰越利益剰余金

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
3	31	次期繰越	12,000	4	1	前期繰越	7,000
				3	31	損益	5,000
			12,000				12,000

③ 繰越試算表（参考）

繰　越　試　算　表

借方	勘定科目	貸方
60,000	現金	
2,000	繰越商品	
	借入金	10,000
	資本金	40,000
	繰越利益剰余金	12,000
62,000		62,000